

公 共 下 水 道 汚 水 ま す
設 置 工 事 施 工 監 理 業 務 委 託
仕 様 書

相 模 原 市

第1章 総 則

第1条 仕様書の適用

この仕様書は、相模原市が委託する「公共下水道汚水ます設置工事施工監理業務委託（7-その1）（以下「本業務」という。）」に適用するものとする。但し、本仕様書に明記されていない事項については、特記仕様書及び業務委託仕様書等一覧に明示した各種仕様書に従い履行しなければならない。

第2条 業務の目的

本業務は、本仕様書に基づき、相模原市が発注した公共下水道汚水ます設置工事（以下「ます工事」という。）の受注者が施工した下水道施設等の完成前検査（以下「下検査」という。）を行うことを目的とする。

第3条 用語の定義

この仕様書に使用する用語の定義は、次の各項に定めるところによる。

1. 「監督員」とは、契約図書に定められた範囲内において受注者又は管理技術者に対する指示、承諾又は協議の職務等を行う契約書に規定する者をいう。
2. 「管理技術者」とは、契約の履行に関し、業務の管理及び統括等を行う、契約書に規定する者をいう。
3. 「現場技術者」とは、受注者が業務を履行するために使用している者（管理技術者を除く）をいう。
4. 「その他作業員」とは、主に現場技術者が行う下検査に同行する者をいう。
5. 「指示」とは、監督員が受注者に対し、業務の遂行上必要な事項について、監督員が書面をもって示し、実施させることをいう。
6. 「承諾」とは、受注者が監督員に対し、書面で申し出た業務の遂行上必要な事項について、監督員が書面により業務上の行為に同意することをいう。
7. 「協議」とは、書面により契約図書の協議事項について、発注者と受注者が対等な立場で合議することをいう。
8. 「報告」とは、受注者が監督員に対し、業務の遂行に係わる事項について、書面をもって知らせることをいう。
9. 「提出」とは、受注者が監督員に対し、業務に係わる事項について書面又はその他の資料を説明し、提出することをいう。
10. 「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、署名又は印刷したものを有効とする。緊急を要する場合は、ファクシミリ又は電子メールにより伝達できるものとするが、後日有効な書面として差し替えるものとする。
11. 「打合せ」とは、本業務を適正かつ円滑に実施するために管理技術者と監

督員が面談により、業務の方針及び条件などの疑義を明確にすること。

12. 「下検査」とは、市請負工事監督規程に基づく一般的職務を遂行するために必要な書類の審査及び現場の確認をいう。

13. 「下水道施設等」とは、市発注のます工事により施工した工事目的物（舗装復旧や区画線などの付帯工含む。）をいう。

第4条 一般留意事項

1. 管理技術者は、業務の適正な履行を確保するために現場技術者が行う業務に係わる次の事項が適切に行われるように、現場技術員を指揮監督する。

(1) 業務実施にあたっては、別に定めた「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「ます工事施工計画書」等を十分理解し、厳正に実施すること。

(2) 業務の実施にあたって、ます工事受注者又は外部からの通知若しくは報告を受けた場合は、速やかに監督員にその内容を正確に伝えること。

(3) 業務の実施にあたって、ます工事受注者又は外部への連絡若しくは通知を行う場合は、その内容を正確に相手に伝えること。

(4) 業務の実施にあたって、ます工事の契約書及び設計図書等の内容を理解し、工事現場の状況についても精通すること。

(5) 業務の実施にあたって、業務に関する図書を適切に管理すること。

2. 管理技術者は、監督員へ下検査の実施状況などに関する報告を月毎に1度行うこととし、下検査の実施状況や残件などについて相互に確認するものとする。

第5条 費用の負担

業務実施に伴う必要な費用（旅費交通費、駐車費など）は、原則として受注者負担とする。

第6条 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

第7条 身分証明書の交付

1. 受注者は、発注者に申請のうえ身分証明書の交付を受けること。身分証明書の交付は、業務に従事する者を対象とする。

2. 受注者は、業務に従事する際には、身分証明書を携帯し、提示を求められた場合は、これを提示すること。

3. 受注者は、業務完了後、速やかに身分証明書を発注者に返還すること。

第8条 技術者

本業務の管理技術者及び現場技術員は、次の資格のいずれかを保有するものとする。

区分	資格など
管理技術者	① 技術士（総合技術監理部門（建設又は上下水道））の資格を有する者 ② 土木学会認定土木技術者（特別上級技術者、上級技術者、一級土木技術者）の資格を有する者 ③ 1級土木施工管理技士の資格を有する者
現場技術者	① 1級若しくは2級土木施工管理技士の資格を有する者 ② 資格のないものについて、（ア）学校教育法による高等学校（旧中等学校令による実業学校を含む。）を卒業したものは5年以上、（イ）同法による大学（旧大学令による大学を含む。）を卒業したもの、若しくは高等専門学校（旧専門学校令による専門学校を含む。）を卒業したものは3年以上、（ウ）そのほかのものについては10年以上の工事経歴があるもの。ただし、（ア）（イ）については、在学中に国土交通省令で定める学科を修めたものであること。 ③ 発注者が、上記①又は②と同等であると認めた者

第9条 疑義

本仕様書に定める事項について、疑義が生じた場合または、本仕様書に定めのない事項については、発注者、受注者の協議によりこれを定める。

第2章 下 検 査

第10条 概要

下検査は、市発注のます工事の受注者（以下「ます受注者」という。）が施工した下水道施設等が設計図書、市が定めた各基準、指針等に基づき施工されているかについて、別添の「下検査チェックシート」に基づき、竣工書類の審査及び下検査（目視、計測、試験等）にて確認すること。

第11条 指示

受注者は、その都度市から指示される「下検査指示書」により、市が各ます受注者へ指示した施工内容及び履行期限などを把握すること。

第12条 日程調整及び報告

受注者は、特記仕様書で定める期限までに下検査が完了するよう、ます受注者と日時を調整すること。また、決定した日時を市へ報告すること。

第13条 書類審査

受注者は、ます受注者から送付された竣工書類（別添の特記仕様書参照）を審査

して、現場状況や出来形数値等について確認すること。

第14条 下検査

検査は、別に定める「下検査チェックシート」に基づき、現場臨場の上、現場技術者もしくはその他作業員の複数で実施すること。

第15条 是正確認と報告書作成

受注者は、下検査での指摘事項についての是正を確認することとし、確認時期は、下検査でまず受注者と決めた期限内に行うものとする。

また、受注者は、全ての指摘事項の是正確認後、別に定める「業務実施報告書」を作成するとともに、貸与した設計図書及び竣工図書などについて、是正事項を更新したものを返却すること。

第16条 報告書の取りまとめ

受注者は、下検査が完了したときは「業務実施報告書」を、監督員に提出すること。

第3章 成果品

第17条 成果品

成果品は、次により提出しなければならない。

記号	図書名	仕様	提出部数
(1)	業務実施報告書(状況写真含む)	所定の書式による (状況写真は任意様式)	A4・2部
(2)	下検査チェックシート		

※状況写真は、汚水ます1基毎に撮影すること

第4章 基準・指針書

第19条 準拠すべき図書

業務は、相模原市が発行している次の図書に準拠して行うものとする。

- ・ 相模原市土木工事共通仕様書
- ・ 相模原市土木工事施工管理基準
- ・ 開発事業技術基準
- ・ 相模原市道路設計マニュアル
- ・ 相模原市道路標準構造図
- ・ 相模原市下水道設計指針
- ・ 相模原市下水道標準図
- ・ その他、市が指示した指針等